



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月14日
東

上場会社名 Green Earth Institute株式会社 上場取引所
コード番号 9212 URL <https://gei.co.jp/ja/>
代表者（役職名） 代表取締役CEO（氏名） 伊原 智人
問合せ先責任者（役職名） 取締役CFO管理部長（氏名） 浦田 隆治（TEL）03-5315-0531
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	274	△10.7	△383	—	△386	—	△391	—
2025年9月期第3四半期	307	79.3	△242	—	△242	—	△249	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	△34.48	—
2025年9月期第3四半期	△22.11	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	3,380	1,714	50.7
2025年9月期	2,967	2,106	71.0

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 1,714百万円 2025年9月期 2,105百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—		
2026年9月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,035	△3.7	△356	—	175	12.1	146	15.3	12.92

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	11,359,300 株	2025年9月期	11,355,100 株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	36 株	2025年9月期	36 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	11,356,464 株	2025年9月期3Q	11,292,264 株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。詳細については、決算短信（添付資料）2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
3. その他	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

日本の経済においては、物価の上昇による影響があるものの、インバウンド需要の増加や雇用・所得環境の改善により、景気は緩やかな回復傾向にあります。一方、米国の新政権における今後の政策変更への懸念、長期化するロシア・ウクライナ情勢及び中東情勢等の背景から、原材料価格やエネルギー価格の上昇等、依然として先行き不透明な状況が続くことが見込まれます。

このような状況下であるものの、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)より受託したバイオフィアウンドリ事業やグリーンイノベーション基金事業、また、同機構より交付を受けているバイオものづくり革命推進事業や、国内外のパートナー企業等との大型のパイプラインを含む研究開発を進捗させております。

なお、ロシア・ウクライナ情勢や中東情勢については、海外企業との取引において為替相場の影響は受けるものの、当社の現在の事業展開地域に当該各国は含まれておらず、現段階において、当該情勢による直接的な事業影響はございません。

以上の結果、当第3四半期累計期間は売上高274,548千円(前年同期比10.7%減)、営業損失383,339千円(前年同期は営業損失242,946千円)、経常損失386,842千円(前年同期は経常損失242,458千円)、四半期純損失391,627千円(前年同期は四半期純損失249,672千円)となりました。

当事業年度については、国策としての業務の受託が多く発生していることから、売上高が第4四半期会計期間に集中するため、四半期会計期間別の業績には変動があります。

なお、当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

- 注1. バイオフィアウンドリ事業は、日本における大学や企業等が保有する、バイオものづくり技術の商用化のための生産プロセスの開発、実証等を実施するプラットフォーム(バイオフィアウンドリ拠点)を構築、運用する事業(採択時において6年間、事業総額54億円(税込))であります。
2. グリーンイノベーション基金事業は、日本のカーボンニュートラル実現に向けて創設された基金(総額2.7兆円、そのうちバイオプロジェクト1,800億円)であり、研究開発・実証から社会実装までを見据え、企業等の取組みに対して10年間の継続的な支援を行う事業であります。
3. バイオものづくり革命推進事業は、未利用資源の収集・原料化、微生物等の改変技術、生産・分離・精製・加工技術、社会実装に必要な制度や標準化等のバイオものづくりのバリューチェーン構築に必要となる技術開発及び実証の一貫した支援(総額3,000億円)を行う事業(第1回:採択時において8年間、事業総額約24億円、補助金総額約14億円、第2回:採択時において6年間、事業総額約5.5億円、補助金総額約3.0億円)であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期会計期間末における流動資産は2,499,632千円となり、前事業年度末に比べ237,172千円減少いたしました。これは主に仕掛品が352,337千円増加した一方、売掛金が369,202千円、現金及び預金が317,647千円減少したことによるものであります。固定資産は881,062千円となり、前事業年度末に比べ650,375千円増加いたしました。これは主に建設仮勘定が404,962千円、出資金が86,861千円増加したことによるものであります。この結果、総資産は3,380,695千円となり、前事業年度末に比べ413,202千円増加いたしました。

② 負債

当第3四半期会計期間末における流動負債は1,605,586千円となり、前事業年度末に比べ786,261千円増加いたしました。これは主にバイオフィアウンドリ事業における設備投資等費用の概算額の入金により仮受金が981,511千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金が100,000千円減少したことによるものであります。固定負債は60,365千円となり、前事業年度末に比べ18,315千円増加いたしました。これは主に長期未払金が24,774千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金への振替により長期借入金が6,030千円減少したことによるものであります。

③ 純資産

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,714,742千円となり、前事業年度末に比べ391,375千円減少いたしました。これは主に利益剰余金が391,627千円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は50.7%(前事業年度末は71.0%)となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想につきましては、2025年11月14日に公表いたしました業績予想の数値から変更はありません。当資料に記載した予想数値は、現時点での入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の研究開発の状況など、今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,059,541	1,741,893
売掛金	398,235	29,033
仕掛品	205,250	557,587
貯蔵品	1,814	2,319
前渡金	2,220	4,156
前払費用	9,485	14,652
立替金	60,243	91,040
未収消費税等	—	56,197
その他	14	2,750
流動資産合計	2,736,804	2,499,632
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,275	6,138
建物附属設備（純額）	1,378	8,946
機械及び装置（純額）	161,760	237,498
工具、器具及び備品（純額）	21,269	62,086
リース資産（純額）	7,787	3,719
建設仮勘定	24,609	429,572
有形固定資産合計	223,081	747,961
無形固定資産		
ソフトウェア	2,606	41,240
無形固定資産合計	2,606	41,240
投資その他の資産		
出資金	5,000	91,861
投資その他の資産合計	5,000	91,861
固定資産合計	230,687	881,062
資産合計	2,967,492	3,380,695

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	108,040	8,040
リース債務	5,622	1,881
未払金	150,933	99,220
未払法人税等	36,750	—
未払消費税等	3,364	—
仮受金	508,694	1,490,206
その他	5,919	6,239
流動負債合計	819,324	1,605,586
固定負債		
長期借入金	30,700	24,670
リース債務	2,410	1,951
長期未払金	—	24,774
繰延税金負債	1,976	1,934
資産除去債務	6,963	7,035
固定負債合計	42,050	60,365
負債合計	861,375	1,665,952
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,602,365	1,602,491
資本剰余金		
資本準備金	1,592,365	1,592,491
資本剰余金合計	1,592,365	1,592,491
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△1,088,765	△1,480,392
利益剰余金合計	△1,088,765	△1,480,392
自己株式	△28	△28
株主資本合計	2,105,937	1,714,562
新株予約権	180	180
純資産合計	2,106,117	1,714,742
負債純資産合計	2,967,492	3,380,695

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	307,471	274,548
売上原価	80,402	108,408
売上総利益	227,068	166,139
販売費及び一般管理費	470,014	549,479
営業損失(△)	△242,946	△383,339
営業外収益		
受取利息	1,116	2,338
講演料等収入	683	29
その他	4	539
営業外収益合計	1,804	2,906
営業外費用		
支払利息	1,081	732
為替差損	202	5,677
株式交付費	31	—
営業外費用合計	1,316	6,409
経常損失(△)	△242,458	△386,842
特別損失		
固定資産除却損	0	2,735
固定資産売却損	12	—
特別損失合計	12	2,735
税引前四半期純損失(△)	△242,470	△389,578
法人税、住民税及び事業税	7,288	2,090
法人税等調整額	△86	△41
法人税等	7,201	2,048
四半期純損失(△)	△249,672	△391,627

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社はバイオものづくり事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載は省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間にかかる四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第3四半期累計期間にかかる減価償却費(無形固定資産にかかる償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	22,261千円	42,440千円

3. その他

該当事項はありません。